

「SSH並木サイエンスレクチャー」が始まりました。

7月21日（木）放課後、「SSH並木サイエンスレクチャー」が始まりました。これは、SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）事業による並木中等独自の英語講座です。全12回シリーズで、1st Stageの6回は、「英語のプレゼンスキルを磨く！」講座です。講師は、ベルリッツ・ジャパン株式会社のアダム先生でした。

この講座は、11月30日（水）から6日間の日程で行く「SSHハワイ島海外研修」とリンクしており、ハワイ島に行く10名は必修です。その他7名の希望参加もあり、4年次・5年次生合計17名で実施されました。

最初に、アダム先生から次のような質問がありました。“What would you rather fight against? One horse-sized chicken, or 100 chicken-sized horses?”

（もし戦うとしたら、馬と同じ大きさのニワトリ一羽、ニワトリのサイズの馬百頭、どちらを選ぶ？）。この質問に「私は百匹のニワトリサイズの馬と戦って、全部クラッシュします。」と回答して教室中を笑いの渦に巻き込んでいる生徒もいました。

生徒たちは、food chain（食物連鎖）に関する講義を受けたあと、3つのグループに分かれて、“Making a presentation about food chain.”（食物連鎖についてプレゼンテーションをする）に取り組んでいました。アダム先生の講義は、「アクティブ・ラーニング」そのものでした。

そして、本日の講座の最大のミッションは、eye contact（アイコンタクト）だったと思います。コミュニケーションにとって、eye contactは、とても大切だと感じました。この講座は、次回9月8日（木）放課後に実施されます。参加生徒たちが、英語のプレゼンスキルを磨き、それをハワイなどで実践することを楽しみにしています。

